



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校
学校便り No.17
令和5年 9月20日
文責：校長 齋藤和彦



教育実習生..への願い 「やっぱり..先生になりたいです」



8月..郡山女子大から栄養教諭をめざすインターンシップ[1週間]2名。9月,宮城教育大[1週間]・都留文科大[4週間]から教職をめざす実習生2名。また,福島大から3月まで週1日の職場体験ボランティア1名。続々。。

実習初日,実習生にこんなことを話します。「実習最終日には,“大変なこともあるけれど..やっぱり教職をめざしたいです。”と思ってほしい。そのために,私達..薫小のありのままの姿にふれて,子ども達には感謝の心をもって積極的にかかわってみてください。」

8月のインターンシップ実習生は,「矢野先生のような栄養教諭になれるようにがんばります。」(明確な目標モデルを指導教官の姿に)

9月(1週間)の実習を終えた学生さんは,「薫小で実習して,必ず先生になりたいと思いました。(3年後は福島県を受験します!)」

実習生受入には,学級への配属..各教科授業参観(教科主任の授業提供)..指導教官による日常指導など,職員に上乘せの負担がかかってきます。しかし,私達も実習生への指導を通して,自分の指導を客観視する機会「学び直しの機会」を得ることができるのです。

「先生になりたい」~夢や希望を抱いて実習を体験。30年~の教職の中には必ず経験する苦労や困難にも逃げることなく,“絶対に子ども達の笑顔のために苦労をいとわない”そんな「先生」に育ってほしい..と願います

初任の先生の指導案には表れない,日々のきめ細かな計画や準備努力も..子どもと正面から向かい合ってがんばっている姿も..。ベテランの先生が放課後に,保護者へ学級での出来事を電話で丁寧に伝えている姿も..。朝一番に教室に入る子を思い..7時半には教室・廊下の窓を開けて電気をつけて待つ担任の姿も..。授業参観できっと魅た(気付いた)であろう..先生の発問や指示ひとつに子どもが集中する瞬間..。休み時間も子どもと教室で語り合ったり,校庭で鬼ごっこしたり..。時に子ども間のトラブル解決に悩んだり..。

こんな薫小の先生のありのままの姿から,『やっぱり..先生になりたいです。(絶対に)』と実習生に思われる薫小学校でありたい。

学校は「ブラック」?

「学校は変わることができるんです」

最近,学生の間では,「超過勤務は過労死レベル」「クレーム対応」「病休者続出」等々..つまり「学校はブラック企業」という認識が広がっているようです。事実,教員採用試験の受験者は年々減少しています。それでも,『大変だけど,やっぱり先生をめざしたい』

こんな決意を抱いて大学に帰った左記の学生さんたちに聞いてほしいのです。

今(2学期から),薫小では,R6次年度を見据えた教育課程編成(改善点の洗い出し・策の検討)が始まっています。「学校は変わることができるんです。」ということ。。

【改善点は,後日アナウンスしていきます】

◆◆ 校長室より ◆◆

~「あるお母さんのひとり言」~

『〒私書箱:校長室ポスト』への返信(お手紙)ありがとうございました。皆様からいただいたご意見や願いは,大切に受け止めて学校経営や運営,改善に活かしていきます。

中に,日々懸命に子育てしているはずの自分への不安や心配(親自身の悩み)がありました。ちょっとでも..ほっ



とできればと..『あるお母さんのひとり言』

毎朝..「早く起きて!早く食べなさい!宿題やったの!プリントは!」って言ってますよね。毎日同じことを言い続け,慌ただしく時が過ぎます。わかります。私もそうでした。

小学校から中学,高校と成長するにつれて手がかからなくなりますが,次はお金がかかります。学費です。これはこれで大変です!

お金がかからなくなる頃には,子どもは家を出て行きます。~成長して,さも一人で大きくなったように,頼もしくなって..。

何だか,とても寂しいんですよね。あの慌ただしい日々が,今はものすごく恋しいのです。

だから皆さん,日々大変ですが,少しでもやさしく..今を大切に,その慌ただしさをも楽しみながら味わってください。

私は今またここで,皆さんの子と,その慌ただしさを味わうことができて幸せです。

(※ 学童保育に勤務する お母さん)